

お茶の水小学校・幼稚園施設整備検討協議会の第8回目の会議が、平成29年12月22日(金)に開催されました。この会議の様子をご報告します。

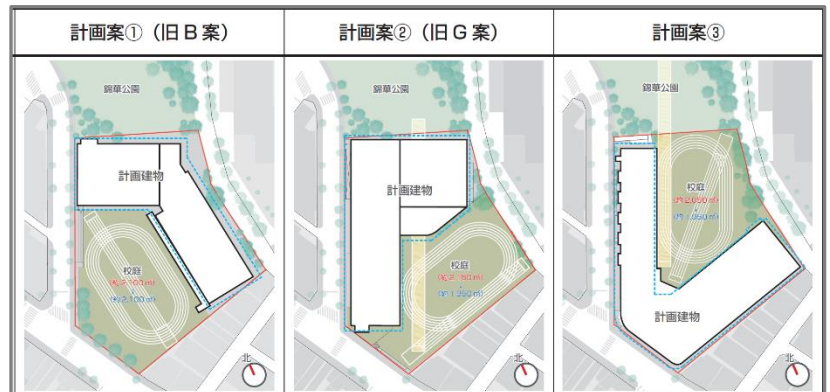
第8回の主な議題

敷地に対して新校舎の建物をどのように配置するかをまず決定するために、校庭の配置の考え方を軸に3案をお示し、意見交換を行いました。

校舎配置の考え方

敷地の中に校舎と校庭をどのように配置するかは、全体計画を作成するための重要な検討事項です。特にお茶の水小学校・幼稚園の計画敷地は周辺をビルに囲まれ、敷地形状に特徴があります。校舎配置にあたっては、日影や公園と関係、開放感の感じられる室内環境の実現に慎重な検討が必要です。

この検討にあたり、今回は3つの考え方に基づいた案を用意し、校舎の状況をイメージしやすいよう参考の平面図や模型を確認していただきながら、各案の特徴をご説明しました。



校庭の位置に着目した配置案

計画案①は校庭を敷地南西に配置した案、計画案②は南東に配置した案、計画案③は北東に配置した案です。これらの配置に加え、前回確認した体育館やプールなど大きな空間の配置について現段階では、児童の生活スペースに近い位置に体育館を配置し、プールは屋上に配置する案としています。さらに、屋上のプールは屋根をかければ屋内化が可能であること、耐震・免震の構造はどちらも採用可能で、免震の場合は構造上校庭の面積が少なくなることをご説明しました。

各委員からは、3案の内容のほか、校庭利用の考え方、地下活用の考え方、公園との連携等に関する

質問や、幼稚園の園庭・プールの設置要望、3案以外の案も提示してほしいといった要望がありました。

次回の協議会では、配置計画について引き続き議論する予定です。

次回の会議日程

1月中旬を目途に正副会長と事務局とで協議し、決まり次第下記ホームページでお知らせします。

